

1年近況報告

能美康彦(1年次)

皆様ご無沙汰しております。1年の能美康彦から近況報告をさせていただきます。

■夏期休業

はじめての“なつやすみ”!! 高校時代から比べれば1.5倍、既に現場の第一線で働いていらっしゃる方々からみたら垂涎モノの長期休みですね。夏休み前半は各種部活に所属している学生達は西医体に参加するついでに日本全国を旅行していました。同時に熱医研のタイ研修・カンボジア研修に参加し世界へと足場を広げていた学生も多かったようです。長期旅行が出来るなんて大学生の内しかないわけですからドンドンいっておかないと損ですね。

1年全員が、だいたい顔と名前も一致して来ており、仲の良いグループで飲み会や小旅行に繰り出しているメンバーも多かったですね。私も夏休みは沖縄の離島に繰り出し夏休み気分を満喫致しました。

最後に改めて私事で恐縮ですが、この夏一番の思い出は、第二内科の益崎先生の下で同じく1年の中込哲平と様々な経験をさせて頂いたことです。運動療法、教授回診、動物実験施設の見学そして

研究や実験のレクチャー等々…益崎先生、屋比久先生を初めとする第二内科の皆様には貴重なお時間を割いて頂き、授業で教えていただいている知識が現場でどう活用されているのかを学ぶ機会を頂きました。蛇足ですが各種講演会のお弁当も美味しかったです(笑) 第二内科の皆様、本当にありがとうございました。改めてここでもお礼を言わせて頂きます。

■後期がはじまって

前期に比しては比較的授業時間だけではありませんが、いよいよ将来の専門につながっていく生物学I、II、そして昔は2年生で履修されていたという生命科学の授業が始まりました。生物学IIについては高校の生物学の発展として生化学へつながる内容を教えて頂けるようですが、生物学Iについては個体群の成長速度をひたすら各種モデルに対する微分方程式で表し、それを解く事を現在繰り返しています。数学が苦手な学生はかなり苦労しているようです。生命科学については毎回小田先生の講義をおもしろく拝聴させていただいております。いよいよ専門のさわりが学べると皆ワクワクしています。

また後期のもう一つの大きな特徴が生物学実験そして物理学実験の2つの実験が必修となっていることです。上級学年の皆様には比べればまだまだ簡単ですが実験レポートを週に2個出す必要があるのはまだまだレポートの作法がわからない我々にとってはなかなか骨の折れる仕事です。レポート提出前日は朝4時頃までマックやファミレスで皆勉強しています。もうちょっと計画的に事前に終わらせるようにしないとイケませんね。

■2年生になれるのか? そして未来に向けて

前期を見る限り基本的にほとんどの学生はき

ちっと単位を履修していました。一部第二外国語の単位を前期で落としたorそもそも履修していなかった学生がでていましたが様々な方のご協力の結果、何とかなったようです。あとは大学生活に慣れ気がゆるんできた後期ですが必修の英語、理科関係はもちろん早い時限の教養などを落とさなければ何とかなるはず…。まだまだ試験期間まで時間的余裕がありますが、仮称：試験対策委員会の設立準備も進めており試験対策も力を入れている所です。何とか全員進級して2年生として専門を勉強をはじめたいところです。

最後に、既に一部の学生有志で2年の専門に向けて勉強会の動きがいくつか出ているようです。Gray's Anatomyに辞書片手で挑んでみたり、研究室にお邪魔させて頂き研究の手伝いをさせて頂いたり等々…。どこまで出来るかはまだまだ未知数ですが将来に向けてしっかり準備していきたいと思っております。

以上まとめがありませんがこれで1年の近況報告を終わります。

